



連載企画  
事業者に聞く

## 常に変化、進化し続けるモノづくり

80年以上の経験と技術を有する地元老舗の  
金属加工事業者から話を伺いました。



いまた ひろあき  
今谷 裕明さん



**Q** 仕事の内容を教えてください。

**A** 船舶や車両用ディーゼルエンジンの部品などを製造しています。旋盤加工、マシニング加工等、複雑形状の鋳物加工が得意分野です。1938年に創業し、1944年に旧上福岡に移転しました。

**Q** コロナ禍で仕事に影響はありましたか。

**A** 令和4年の前半はコロナの影響もあり、仕事の受注がほとんどなく、経営が大変でした。現在は廃業した他業者の仕事をまわしてもらい、納入

業者からの受注も増え始めています。

**Q** 仕事での苦労を教えてください。

**A** 若い社員が多いですが、金属加工の後継者が少ないことです。また、職人の経験と技術による汎用旋盤はその継承が難しく苦労しています。

社員一人ひとりがそれぞれの仕事をしているので、若手社員の技術をどのように指導していくかも課題です。

**Q** 市に求めるものは。

**A** 金属加工の経験や技術のある人材を把握して欲しい。金属加工経験者の人材登録センターをつくり、その派遣などをお願いしたいです。キャリア教育として、モノづくりを位置付けることも必要だと思います。

総務・教育常任委員会視察調査報告

## 幸カイの動き

### 学校教育のICT活用を調査

総務・教育常任委員会では、令和4年10月24日にICTを活用した学校教育の取り組みについて、先進地である鴻巣市を視察しました。

また、それに先立ち、本市の小中学校でのタブレット活用について教育委員会から報告を受けました。

#### ふじみ野市の取り組み

教育委員会では、GIGAスクール推進主幹が中心となり、小中学校のICT活用を進めています。

具体的には小学2年生がタブレット上の発表ノートを共有しながらグループ学習を行う様子などが紹介されました。

また、タブレット教材を使うことで個に応じた学習が進められるとともに、問題集や資料集など教材購入の負担軽減にもなっているとの報告がありました。

#### 鴻巣市の教育ICT基盤整備

鴻巣市では、教材や校務システムを全てクラウド化し、ネットワーク環境があればどこからでも

学べる環境を構築しています。また、教職員に固有のモバイルルーターを貸与することでセキュリティに配慮しながら校外からも業務ができるようになり、教職員の働き方改革にもなっていました。



鴻巣市での視察の様子

#### 委員会からの意見

本市でも急速にタブレットの活用が進んでおり、引き続きICT活用を推進してほしい。また先進事例を参考に校外でも教職員が業務に当たれるよう、通信環境の整備を検討してほしい。